

学校で栽培されたさつまいもを味わおう

実施日 令和6年11月14日（木）、22日（金）

対象児童 75名

1 献立内容

11月14日

ソフト麺 牛乳

きのこあん

大学芋

切り干し大根の中華炒め



11月22日

米飯 牛乳

イワシの紀州煮

すろっぽ

高野豆腐の味噌汁

みかん



2 ねらい

- ・方県小学校で収穫されたさつまいもを全校で味わうとともに、野菜に興味を持つ。
- ・地域の関係者と連携して進める。

3 事前準備

- ・5月に全児童でさつまいも苗植えの計画をした。
- ・さつまいもの生育状況を確認しながら、収穫の活動日を協議し、学校給食での使用日を決定した。
- ・「学校独自献立計画書」を、学校給食課と岐阜市学校給食会に提出し、独自献立当日に使用するさつまいもを学校農園で収穫したものに変更することを伝えた。
- ・事前に周りの雑草や、さつまいもの葉やツルを取り除き、収穫が時間内にできるよう準備した。
- ・11月に全児童でさつまいもの収穫を行い、収穫後、土を払い日陰で乾燥させた。
- ・使用前日に給食に必要な量を確保し、水洗いをして天日干しをした後、給食下処理室に運んだ。

4 指導や活動

- ・5月、さつまいも用に各学年の畝をつくったところに、各学年の担任と校務員が中心となり、全校児童でさつまいもの苗を等間隔に植えていった。
- ・各学年で、収穫までの水やりや草取りなどの栽培の世話をした。
- ・11月、当日、2つの学年ごとのペアで、3交代に分けて全校でさつまいもの収穫をした。地域の方々に、指導や見守りをしていただいた。

- ・収穫したさつまいもを、1階渡り廊下で乾かした。
- ・収穫したさつまいもは学校給食独自献立でいただくことを、便りや給食の放送等に知らせ、当日までの関心を高めた。
- ・児童の関心を高められる目につく時間・場所で、さつまいもの泥落としや天日干しをした。
- ・当日の調理や、各クラスの配膳の様子をビデオや写真に撮り、給食時間に全校児童に紹介した。



5 振り返り ●

成果

- ・今年度は、昨年度挑戦した有機栽培から、元の栽培方法に戻しての実施となった。地元の方々、地元指導農家、JA職員等多くの方々との連携や協力をいただき、実施することができた。
- ・苗植えから収穫までの長期的管理を行い、夏休みの間も水やりなどの世話などの多くの方の手をかけた結果、収穫量も多かった。全校で収穫の喜びを感じることができた。
- ・収穫したさつまいもを持ち帰り、家庭でどんな料理にしたかななどの会話が弾んでいた。
- ・給食に入った2日間とも、とても美味しかったと喜ぶ姿が見られ、返却時には、調理員さんへ感謝の言葉を伝えることができていた。

課題

- ・今年度のさつまいもは豊作で、収穫量も多くなったが、天候やその他の諸事情を考えると、当たり前前にできることではなく、多くの協力や手間が必要となる。今後も、児童に、食への関心や理解を高められるよう、地域の方々との協力・連携して進めていく必要がある。